

home!

home is life, life is home

《サーマルーフが夏の屋根を変える》



Kent Miyazaki



省エネルギー住宅は【夏の遮熱・通気】と【冬の断熱・気密】を区別して考えると性能が整います。



一般の屋根： 48.9°C
サーマルーフを採用していない屋根は太陽熱が伝導し室内側の温度が上昇する。コレを2次輻射と言います。



■ 断熱層の外で空気を自然循環させ、排熱するので

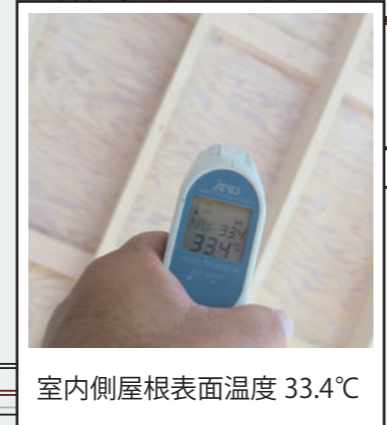
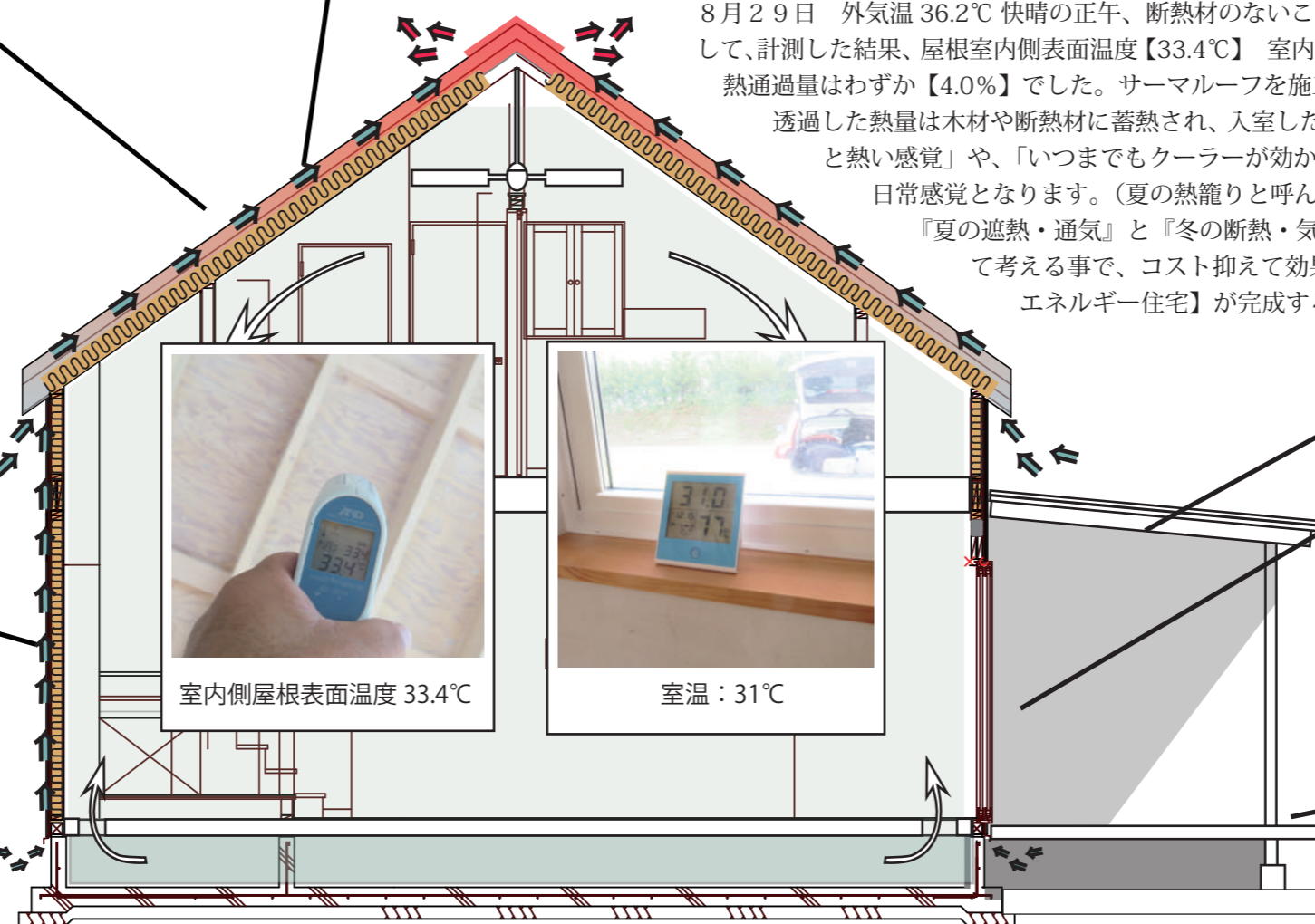


■ 防水と通気をメンテナンスフリーで両立させるために納まりを工夫します。



■ 屋根遮熱・通気工法 《サーマルーフ》

8月29日 外気温 36.2°C 快晴の正午、断熱材のないこのお家を密閉して、計測した結果、屋根室内側表面温度【33.4°C】 室内温度【31.0°C】 熱通過量はわずか【4.0%】でした。サーマルーフを施工しない場合、透過した熱量は木材や断熱材に蓄熱され、入室した瞬間「もわっと熱い感覚」や、「いつまでもクーラーが効かない」という日常感覚となります。(夏の熱籠りと呼んでいます) 『夏の遮熱・通気』と『冬の断熱・気密』を区別して考える事で、コスト抑えて効果の高い【省エネルギー住宅】が完成すると考えます。



外気温 36.2°C
外部ポーチ日陰部 (地表 +1.4m)



木デッキ表面温度：62.5°C
屋根の表面温度も同等と考えられる

■ この「屋根遮熱通気工法」は(株)建図宮崎が特許を取得しており 台風の暴風雨にも対応した給気排熱防水施工と外壁の連続換気を実現した工法で暑い宮崎の夏を機械設備に頼ること無く快適に過ごすため、独自に開発したパッシブソーラー手法です。

PROJECT	TITLE	APPLICANT	DESIGNER	STRCSN	CONSTN	DATE	ARCHITECT	DWG NO.
							株式会社 建図宮崎 〒880-0001 宮崎市橋通り西5丁目3-29 Tel 0985-22-1777 Fax 0985-22-1778	
						SCALE		